

令和4年度 第1回松本市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 会議録

日 時	令和4年6月29日（水） 10時～12時10分
会 場	大手公民館 大会議室
出席者	委員12名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会議事項</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について（協議事項）</p> <p>(2) 第2期松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（協議事項）</p> <p>ア 事業計画の見直しについて（趣旨及び方法）</p> <p>イ 保育課事業に係る実績報告及び中間見直し案について</p> <p>ウ 健康づくり課事業に係る実績報告及び中間見直し案について</p> <p>エ こども育成課事業に係る実績報告及び中間見直し案について</p> <p>オ こども福祉課事業に係る実績報告及び中間見直し案について</p> <p>(3) 重層的支援体制構築に係る他機関協働及び生活支援のあり方について（協議事項）</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉 会</p>
会議事項	<p>2 会議事項</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について 会長：平林優子委員（信州大学保健学科教授） 副会長：内藤美智子委員（松本大学幼児保育学科長）</p> <p>(2) 第2期松本市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて 事業計画の中間見直しについて事務局及び担当課長から資料に基づき説明があった。</p> <p>【質疑応答】</p> <p><委員> 保護者同士の話で、3歳未満児の入園厳しいといったことをよく聞く。また、入園しても、休んだりして通園していない子もいるようだ。週に何回か、子どもを預かってもらえる制度など柔軟に対応してもらえる保育環境があればいいと思う。 →保育士不足という課題はあるが、一時預かりやファミリー・サポート・センター事業の利用など充実を図りたい。</p> <p><委員> 事業計画の量と実績は合っていると思うが、どの地域に、どのくら</p>

いの量が必要なのかなど、もう少し細かく聞きたい。

→計画策定時に市内全域を大きく区分し検討している。ただ、コロナウイルス感染症の影響により、出生数が減少している点など詳細な各地域の量の分析は難しい。施設についても、今後、統廃合や建替えも含め検討する必要があると考える。必要な地域に必要な保育を受けられる環境整備に努めたい。

<委員>

保育園の一時預かりの無料クーポン券が配布され、2か月程度経過するが、利用はどのくらいあるのか。

→4月のファミリーサポートセンター事業は、410人の方に配布し、績は、288枚の利用(3.5%)である。一時預かりの利用実績は、配布が187人、実利用者が100人だった。

<委員>

地区担当保健師は、公立および私立保育園とつながっているのか。

→地区ごと連携の強弱はあるが、保育園に地区担当保健師が出向いて健康相談を行うなどの取組みを行っている。

<委員>

つどいの広場に子どもと一緒に行ったら、保育園に行っている子どもは利用できないと断られた。親の立場として解せない。対象児童の幅を区切っているのか。

→つどいの広場事業は、児童館を使用して実施しているため、対象年齢を区切っているが、市内に4か所にある「こどもプラザ」は、利用対象の幅を広くして実施している。

<委員>

登録児童数や利用児童数が多い児童館・児童センターについては、優先度をつけて施設の増築、建替えという計画があると思うが、民営の施設も計画に加えてもらいたい。

→検討したい。

<委員>

ショートステイ事業(子育て短期支援事業)は、とてもありがたい制度であると思う。緊急の場合は、児童相談所の一時保護という形もあるが、児童相談所は、一般家庭からは敷居が高い。気軽に相談してショートステイが利用できるということが重要。今後、予算の問題もあると思うが、無料で利用できるといったことや里親家庭の活用も

検討していただけるとありがたい。

→利用料については、所得に応じて利用料を徴収しているため、検討したい。里親家庭の活用については、他機関や近隣自治体とも相談しながら検討したいと考える。

- (3) 重層的支援体制構築に係る他機関協働及び生活支援のあり方について資料に基づき、説明があった。

【質疑応答】

<委員>

重層的というのは、乳児から高齢者、障がい者も含めて重層的というのか。

→基本的には、人を中心に考えてくが、子どもに限らず、障がいや生活困窮という分野や年齢、性別を超え、伴走的な支援をしていくということである。また、その支援が、公的な支援だけでなく、地域の見守りや支えあいも必要となる。様々な分野や関係機関が連携して支援するというイメージである。

<委員>

地区担当保健師の駐在化とは、具体的に複数配置といったことを想定しているのか。

→複数配置ということではなく、地区に出向く機会を増やすといった取り組みを段階的に整えていく予定である。

<委員>

地区担当保健師の仕事量が増えたり、担当保健師が交代してしまったりすると、危機管理の面から言っても心配である。全地区複数配置とまでは言わないが、ブロック別に分けるなど複数配置について検討していただきたい。

→ご意見として伺い、今後検討したい。

- (4) その他

なし